平成 28 年度 第３回 金沢市介護保険運営協議会	資料３
平成 29 年 2 月 24 日	

認知症の方を支える体制の整備【短期的取組】

【平成 27（2015）年度】実績		【平成 28（2016）年度】実施中		【平成 29（2017）年度】方向性
１．認知症予防施策の強化				
(1) 認知症の疑いのある高齢者を予防につなげる仕組みの構築 (改)もの忘れ健診の対象（従来の 76 歳に 70 歳、73 歳を追加）を拡大	継続	もの忘れ健診（対象：70 歳、73 歳、76 歳）を実施	継続	もの忘れ健診（対象：70 歳、73 歳、76 歳対象）を実施
	新規	(2) 認知症予防教室の面的展開の促進【中期的取組】を前倒し (新)総合健康センターで認知機能向上教室をモデル事業として実施	拡充	総合健康センターでの認知機能向上教室の実施に加え、 (改)Ｈ28 年度開発のプログラムに基づき、３か所の日常生活圏域で実施 予算額【1,020 千円】
２．標準的な認知症ケアパスの早期作成と普及推進				
(1) 認知症ケアパスの早期作成・普及促進 (新)認知症ささえあいガイドブック(認知症ケアパス)を作成(10,000 部)	継続	認知症ささえあいガイドブック(窓口や訪問時等)を配布	継続	(改)認知症ささえあいガイドブックの増刷（10,000 部）予算額【800 千円】
(2) 認知症高齢者を支える社会資源の整備 第６期(H27～29 年度)整備計画(グループホーム等)	新規	(新)グループホームを公募 (たがみ、もろえ、やましなの日常生活圏域において３事業者を選定)	継続	たがみ、もろえ、やましなの日常生活圏域にグループホームを整備
３．認知症を早期に発見し、早期の受療に結び付ける取組の強化				
	新規	(1) 認知症初期集中支援チームの設置 (新)日常生活圏域(19 箇所)毎に認知症初期集中支援チームを設置 初期集中支援チームによる訪問　98 件（Ｈ29.１月末現在）	継続	認知症初期集中支援チームによる訪問を継続実施
(2) 認知症の方やその家族を支える地域づくり活動の推進 (新)地域づくりの機運醸成のための市民フォーラムを開催	継続	地域づくりの先進事例を学ぶ市民公開講座を開催	継続	地域づくりの先進事例を学ぶ市民公開講座を開催
	新規	(3) 認知症専門医、認知症サポート医、かかりつけ医等の連携強化 (新)チーム員会議への参加、認知症診療機能調査に基づくリスト作成	継続	認知症専門医、認知症サポート医のチーム員会議への参加
４．認知症の方とその家族に対する支援の強化				
(1) 認知症カフェの設置 (改)認知症カフェのモデル事業（１箇所→５箇所）を拡大	継続	(改)認知症カフェを日常生活圏域(19 箇所)毎に月２回開催 57 会場で 391 回開催（Ｈ29.１月末現在）	継続	（改）地区民生委員協議会が３つ以上の日常生活圏域において、 認知症カフェの開催を月３回に拡充　予算額【9,825 千円】
(2) 認知症地域支援推進員の配置 翌年度へ向け、認知症地域支援推進員を養成	拡充	(新) 認知症地域支援推進員を日常生活圏域(19 箇所)毎に配置	継続	認知症地域支援推進員を日常生活圏域(19 箇所)毎に配置
	新規	(3) 認知症地域支援推進員の育成、スキルアップ 認知症地域支援推進員の情報交換等ための会議を毎月開催	継続	認知症地域支援推進員の情報交換等ための会議を毎月開催
５．認知症について正しく理解するための教育・啓発の推進				
(1) 認知症サポーターの養成及び認知症サポーター認定所の拡大 認知症サポーターの養成 3,543 人、認定所 52 箇所（H27 年度末）	拡充	(新)日常生活圏域(19 箇所)毎に認知症サポーター養成講座を実施 認知症サポーター4,690 人、認定所 60 箇所（Ｈ29.１月末現在）	継続	日常生活圏域(19 箇所)毎に認知症サポーター養成講座を実施
(2) 認知症に対する自主的な活動の促進	新規	(新)オレンジパートナーを育成 36 人（Ｈ28.12 月から活動開始）	継続	オレンジパートナー(認知症サポートリーダー)を育成(50 人)
６．若年性認知症の方の状況に合わせたサービスや体制の周知				
	新規	(1) 相談窓口の設置 (新)認知症地域支援推進員の配置や日常生活圏域毎の認知症カフェの開設	拡充	(新)若年性認知症の人のための集いの場(カフェ)の設置　予算額【450 千円】
			拡充	(2) キャラバンメイトフォローアップ研修の開催 (新)若年性認知症への理解を深めることで、認知症サポーター養成講座における説明を充実